

# 令和5年度 横浜市立日吉南小学校 環境教育 実施報告

## はじめに

- マイカー利用の生活から公共交通などを適度に利用する生活への転換を促す「モビリティマネジメント」の一環として、様々な移動手段を目的や状況に応じてかしこく使い分ける視点を学ぶ授業を日吉南小学校で実施しました。
- 日吉南小学校では、総合学習の時間に SDGs について学ぶ授業を行っています。今回の出前授業では、地球温暖化の話や様々な活動が排出量するCO2の話、また交通に関する知識として、バスなどの公共交通の利用者数の推移や、移動手段を選択する上で考えてほしいことなどについて伝えました。
- 学校の周辺は駅からやや離れた住宅街ですが、比較的バス交通も盛んな地域です。

- 【日時】 令和5年9月11日(木) 1・2校時
- 【対象】 横浜市立日吉南小学校  
5年生 1・2・3組 (123名)
- 【内容】 ①座学  
「人にも地球にも優しい「かしこい移動」を考える」  
②ワーキング



(出典：地理院地図)

### 学校へのアクセス

- 【東急東横線】日吉駅 徒歩 19分、  
網島駅 徒歩 17分
- 【市営地下鉄】日吉本町駅 徒歩 15分

## 1 出前講座の全体概要

- 授業の内容・資料は、事前に先生に相談しながら決定しました。
- 前半は、環境問題をテーマに、公共交通の中でも特にバスとマイカーを比較してもらい、それぞれの良いところ、良くないところを知ってもらいました。
- 後半は、バス利用者数減少のデータ等を紹介しながら、まちづくりのテーマで、公共交通を維持することの大切さを知ってもらいました。

### ■ 授業の様子



## 2 授業の内容

- 授業の冒頭で SDGs について触れ、公共交通をかしこく使うことは「11.住み続けられるまちづくりを」と「13.気候変動に具体的な対策を」に関連するということを伝えました。
- 温室効果ガスの原因でもあるCO2が日頃どのような場面で排出されるか、またクルマがもたらす環境への影響や、バスの利用が減っている現状などを説明しました。
- 座学を実施した後は個人で簡単なワーキングをしてもらい、身近な駅に行く際の移動手段ごとの所要時間や所要金額、CO2の排出量を計算し、比べてもらいました。
- 移動手段を選ぶときは「環境」、「健康」、「お金」「便利さ」など様々な視点から見るのが大切であり、「行き先や状況に応じて、かしこい移動を考える」ことが大切であることを伝え、授業を終えました。

■ 座学に用いたパワーポイント(一部)

聞いたことあるかな？

11 住み続けられるまちづくりを

まちや人びとが住んでいるところを、だれもが受け入れられ、安全で、災害に強く

聞いたことあるかな？

13 気候変動に具体的な対策を

気候変動や、それによるえいきょうを止めるために、

クルマはどのくらい二酸化炭素を出す？

ヒト1人を1kmはごぶときの二酸化炭素

移動手段	CO2排出量 (g)
クルマ	130
飛行機	98
バス	57
電車	17
自転車	0
徒歩	0

クルマはバスの2.5倍 電車の7.5倍

個人ワーキング

(ア) 電車のみで行くとき

(イ) 電車と徒歩で行くとき

(ウ) クルマのみで行くとき

## おわりに

- SDGsに関わる話ということもあり、児童は熱心に授業を聞いてもらいました。交通という身近なテーマでしたが、あらゆる活動や生活に占めるマイカーのCO2排出量の割合や、バスの乗車人数の減少など、初めて知る内容もあったようです。
- 今回の授業でそれぞれの交通手段の特徴を知り、**クルマは便利ですが、バスなどの公共交通で行ける所は公共交通を使ってみる**、という気持ちを持ち、家族やお友達などと少しずつ実践してほしいと思います。